

株式会社らむれす （情報通信業）

<企業概要>

設立年	1993 年	資本金	30 百万円
本社所在地	札幌市西区八軒 1 条西 1 丁目 2-5		
事業概要	コミュニティ FM 放送局の運営、番組の企画制作、イベント企画制作、地域貢献事業		
従業員数	4 人		

◆事業・プログラムの内容

- ・ 1993 年に、ラジオ番組制作やイベント制作のプロダクションとして「株式会社らむれす」を設立、1998 年に札幌市西区を可聴エリアとするコミュニティ FM「三角山放送局」を開局した。その際のステーションコンセプトが「いっしょにね」であり、下記 3 つのルールを作った。
 1. 伝えたいことがある人、伝える必然がある人がマイクの前に座る。
 2. 女性や子ども、お年寄り、障害を持つ人、セクシャルマイノリティなど社会的弱者、少数派と言われる人たちの意見を決して切り捨てず、積極的に発信する。
 3. 放送で嘘をつかない。
- ・ 会社の理念は、人と人をつなぎ、地域をかき混ぜ連携活動を促進し、有縁社会を取り戻すことであり、その手段のひとつとしてラジオがある、という考え方である。「いっしょにね」を合言葉に障害者も健常者もごく普通に付き合える【場づくり】【番組づくり】を目指し実践してきている。
- ・ 開局当初から障がい者自らがパーソナリティとなって自分の考えを発信していく番組を想定していた。地域の放送局として、恒常的かつ日常的に《レギュラー番組》で彼らの思いを発信していくことこそ、必要だと感じていた。車いすのパーソナリティや視覚障害者のパーソナリティのために、北海道立工業試験場(現・北海道立総合研究機構 工業試験場)とともに放送機器のバリアフリー化に取り組んだ。



◆実績

- ・ 外国人、障がい者、高齢者の方々が自ら発信する番組として、現在 8 つの番組がある。当事者しか伝えられない社会への提言や、実際のバリアの状況など生の声を発信している。例えば、車いす利用者からみた街の様子や使いづらさ、視覚障がい者が伝える介助の仕方を発信したり、2006～2008 年まで「盲導犬チャリティわんわんコンサート」を開催し、計 100 万円以上の寄付をしたりしている。
- ・ このような情報発信の結果、社員やスタッフ・パーソナリティたちが、車いすの幅を知り段差の不便さを知り、視覚障がい者の介助には二の腕を掴ませて半歩先を歩くことを知っていった。リスナーの反響は大きく、障がい者の方の挑戦や自立を応援するイベントにつながり、障がい者や高齢者、外国人の方々の能力発揮の機会を提供していることを実感している。
- ・ 内閣府「平成 23 年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」で「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」を受賞。